



鴨島町歴史年表

完結編



江川・鴨島公園 2004・4月



夏10℃ 全国名水百選「江川湧水源」 2000・6月



冬22℃ 全国名水百選「江川湧水源」 2001・1月



役場庁舎 2004・4月



2004年(平成16)
鴨島町



鴨島町歴史年表

歴史年表

時代及び西暦(年号)	事 項
石器時代	<ul style="list-style-type: none"> ・山路の森山層から旧象のものと思われる骨や牙、鹿(四不像)の骨格と臼歯、その他、貝や植物(ひし)等の化石が出土する。特に、鹿(四不像)の骨格化石は日本唯一のもの ・上浦、森藤壇、飯尾丸山、敷地赤坂から石器発見 ・ナイフ型類似の剥片(はくへん)石器出土(15,000~20,000年前)、(西麻植壇の原五本松の東北約12メートル付近の地中から発見) ・有舌尖頭器(ゆうぜつせんとうき)、敷地長原で発見(12,000年前)
縄文時代	<ul style="list-style-type: none"> ・西麻植東禅寺遺跡より、土器、石器、住居跡発見(4,000年前)
弥生時代	<ul style="list-style-type: none"> ・旧上浦村浦山、旧森山村で銅鐸発見 ・森山三谷遺跡から弥生式土器多数出土 ・飯尾丸山遺跡からサヌカイト製の石器、ヤジリ出土 ・敷地赤坂遺跡から石棒など発見 ・西麻植東禅寺遺跡から土器、石器発見
古墳時代	<ul style="list-style-type: none"> ・上浦岡、山路岡原、森藤城ヶ丸、飯尾高原、西麻植東禅寺等全町にわたって山麓や台地に古墳発見、須惠器(すえき)等出土品多数 ・山路宮ノ南で発見された箱式石棺槨は、鴨島東中学校で保存 ・敷地の西宮古墳(敷島神社裏)には、石室の石組みが残る。
飛鳥時代 645年(大化2)	<ul style="list-style-type: none"> ・大化の改新により、徳島県は、粟国、長国の2国併せて阿波一国となる。鴨島町は麻殖(植)郡に属する。 (上浦は名方郡、知恵島は阿波郡)
701~704年 (大宝年間)	<ul style="list-style-type: none"> ・口分田を収授する。鴨島町に関係地名(一ノ坪、一町地、三反地、四反地、五反地、六反地、八反地)が残る。
奈良時代 712年(和銅5)	<ul style="list-style-type: none"> ・元明天皇、阿波国に命じて、綾、錦を織らす。(続日本紀巻5) ・飯尾唐人(いのおかろうと)に呉羽(くれは)神社あり(呉羽神社石碑より)この頃、すでに呉の国からの渡来人が養蚕、製糸、織物指導をしたとの伝承あり。
715年(霊龜元)	<ul style="list-style-type: none"> ・「里」を改めて「郷」とする。 鴨島町一帯は、呉島郷(くれしまごう)となる。
770~80年 (宝亀年間)	<ul style="list-style-type: none"> ・この頃から平安時代中期の間に、こうべ寺(河辺寺)が建立されたと推測される。こうべ寺跡(昭和29年発掘)より、弘仁(810~824)と貞観(859~876)年間の瓦(鑑瓦、宇瓦)を発見
平安時代 810~24年(弘仁年間)	<ul style="list-style-type: none"> ・この頃、弘法大師により藤井寺は現在地の近くに、報恩寺は植山地に開基、また、持福寺は神山町阿川上河内に創建との縁起あり。
905年(延喜5)	<ul style="list-style-type: none"> ・この頃、呉島郷は絹織物、絹糸の産地となる。

歴史年表

時代及び西暦(年号)	事項
907年(延喜7)	・牛島杉尾神社、西麻植中内神社、延喜式内社となる。
927年(延長5)	・「倭名類聚抄」ができる。麻殖郡に呉島(久礼之萬)郷名あり。(阿波国9郡44郷2余戸)
1148年(久安4)	・藤井寺本尊、薬師如来座像にこの年の銘記がある。本町唯一の国指定重要文化財(仏師経尋作)
1186年(文治2)	・平康頼、麻殖保司となる。 ・諏訪神社勧請と伝える(もと諏訪の原にあったが、1865年の洪水で流失、諏訪の元に鎮座した。(1923年現在地へ移転)
1187年(文治3)	・平康頼、現在地の近くに玉林寺を創建と伝わる。
1188年(文治4)	・平康頼、地頭野三成綱と争い、麻殖保は西方と東方に二分され、康頼は東方のみを支配する。 ・平康頼、熊野神社勧請
鎌倉時代 1221年(承久3)	・承久の変に平清基(康頼の子)公家方につき、麻殖保司を失う。麻殖保は幕府権限下に置かれ、麻殖庄となる。 ・小笠原長経、阿波の守護代となり、麻殖庄の地頭を兼ねる。
1230年(寛喜2)	・小笠原貫道、牛島に浄土真宗「森の坊」創建(現・西覚寺)(阿波で最初に創建された真宗の寺院)
1289年(正応2)	・こうべ寺のことが、一遍聖人絵詞に記事として残っている。 ・この頃、すでに前記の寺の他に、三谷寺、仙光寺、牛島宝王院等が創建されていたと思われる。
1316年(正和5)	・飯尾報恩寺板碑に、正和5年(1316)、元亨元年(1321)及び、応永4年(1397)の銘あり。
1332年(正慶元)	・上浦本行寺門前板碑の紀年(4基のうち1基は町内最大のもの)
南北朝時代 1336年(建武3)	・麻殖庄西方の地頭、飯尾氏一族が、足利尊氏の軍に加わり、神戸の湊川の戦いに参戦の記録あり。
1346~69(正平年間)	・僧善智、山路に仙光寺を再興(仙光寺文書にあり)
1383年(永徳3)	・牛島西覚寺の板碑にこの年の銘あり。
室町時代 1422年(応永29)	・飯尾彦左衛門常房京都で生まれる。(3月21日)京都で没(1485) 飯尾報恩寺に飯尾一族の墓といわれるものあり。
1438年(永享10)	・麻殖塚西円寺、僧唯信が創建、天正年間の兵火で焼失
1467年(文正2)	・牛島杉尾神社の麻苧桶にこの年の銘あり。
1472年(文明4)	・犬神退治文書に飯尾常連の名が残っている。
1491年(延徳3)	・このころの仙光寺文書が、多く残っている。(延徳3年、永正2年、永正11年、天文5年、永禄12年、の文書あり)

歴史年表

時代及び西暦(年号)	事項
1511年(永正8)	・森藤八幡神社棟札にこの年の銘が残っている。
1518年(永正15)	・僧定秀が一連寺(通玄寺)を開基、天正年間の兵火で焼失
1532年(享禄5)	・山路屋敷の板碑にこの年の銘が残っている。
1544年(天文13)	・鴨島常教寺、僧善正により開基、天正年間の兵火で焼失
1549年(天文18)	・藤井寺本尊木造釈迦如来座像修理(この時?、薬師如来となる)
1550年(天文19)	・山路善正寺、僧敬善により開基
1552年(天文21)	・内原城主、蓮池清助勝瑞にて死亡(阿波での戦国時代始まる)
1563年(永禄6)	・飯尾持福寺釈迦図(明の嘉靖42年の銘)
安土・桃山時代 1579年(天正7)	・脇城外の戦、鴨島壘(城主)鴨島六之進、飯尾東壘、麻植志摩守、内原壘、内原菊太夫など多くの勇将・豪族等が戦死
1582年(天正10)	・中富川の戦で、乗島壘乗島来心、中島壘片山岸右衛門など戦死「天正8~10年は盗賊の代になり申候・・・」(昔阿波物語) ・この頃、長宗我部元親との戦いで、藤井寺、玉林寺、三谷寺等、町内のほとんどの寺々が戦火にあい焼失、多くの文化財を失う。
1585年(天正13)	・蜂須賀家正、軍功により阿波の大部分を与えられ、一宮城に入る。
1587年(天正15)	・飯尾持福寺地藏十王図(明の万暦15年の銘)
1588年(天正16)	・麻殖須賀村、喜来村検地帳の写しあり。(太閤検地)
1598年(慶長3)	・飯尾高ノ原の福生寺、飯尾より川田村に移り駅路寺となる。
1600年(慶長5)	・蜂須賀至鎮、阿波に封じられる。(関が原の戦いにより淡路加増、25万7千石となる)
江戸時代 1604年(慶長9)	・牛島村、麻殖塚村、西麻植村、上下島村、各検地帳あり。 ・この頃、僧晴雲が飯尾に持福寺を再興する。 ・この頃、喜来杉尾神社洪水で流失、城主乗島来心の子了本が勧請 ・蜂須賀氏が入国し、麻殖郡を麻植郡と改める。
1615年(元和元)	・この頃より、呉島に藍作奨励され、作付次第に多くなる。
1622年(元和8)	・西麻植東禅寺(寛文11年、十力寺と改称)再興、昭和46年廃寺
1624年(元和10)	・森藤村、加茂島村各新開検地帳あり。 ・この後の各地の新開検地帳、百姓夫役改め帳多数あり。
1624~44(寛永年間)	・飯尾神社創建、飯尾一族を祀った。
1657年(明暦3)	・西麻植村、喜来村、麻殖塚村、東知恵島各棟付帳あり。
1661年(寛文元)	・麻殖塚向麻山、山中の庚申碑にこの年の銘あり。町内庚申碑の中で最古

歴史年表

時代及び西暦(年号)	事 項
1673~81(延宝年間)	・僧光寂宗本により、玉林寺現在地に中興開山
1682年(天和2)	・阿波国旱害(かんがい)、また、水害(天和2~3年へと続く)
1688年(貞享3)	・西麻植八幡神社にこの年の棟札あり。
1697年(元禄10)	・寺谷と森藤境の山神の碑にこの年の銘あり。
1698年(元禄11)	・牛島岸ノ下基地の六地藏尊の紀年、六地藏尊では町内最古
1728年(享保13)	・中島地藏菩薩にこの年の銘あり。
1745年(延享2)	・洪水のため、板野郡西条村と麻植郡牛ノ島村で境争いの裁判があり、麻植・板野・名西三郡の郡境石が建てられる。
1746年(延享3)	・森藤村八幡神社にこの年に書かれた縁起あり。
1751年(寛延4)	・内原村西張の荒神社址の石灯籠にこの年の銘あり。
1756年(宝暦6)	・連年凶作、五社宮事件、百姓一揆挫折、首謀者5人磔の刑 ・牛島村稲垣監物、藩主の許可を得ず「監物堤」(けんもつづみ)を築造責任をとり、その場で切腹 ・この頃「麻植郡内原村藍作日本一」とある。(阿波藩民政資料)
1766年(明和3)	・麻植塚に剣士佐藤忠右衛門あり、貫心流剣道指南を代々続ける。
1782年(天明2)	・国中八幡神社、山路国一八幡より分神勧請して向麻山東麓に奉祀 ・天明2~5年に続く連年飢饉(ききん) ・この頃、鴨島町で最初の漢方医、筒井玄医療に尽くす。
1783年(天明3)	・西麻植八幡神社、多田氏の名が刻まれている太鼓橋あり。 ・この頃、康頼神社再興
1785年(天明5)	・飯尾の弥五郎、凶作を直訴して処刑され、義人として葬られる。
1792年(寛政4)	・吉野川大洪水、被害甚大、秋祭中止 ・牛島西崎(麻植塚駅南)光明真言供養碑の紀年、町内で最古
1802年(享和2)	・西麻植、与兵衛父子、天明から続く飢饉、洪水の時、農民を救いこの年2月、藩主より褒められ帯刀を許される。
1809年(文化6)	・粟島にある遍路道標石にこの年の銘あり。
1815年(文化12)	・「阿波志」ができる。鴨島町内の記述多数あり。
1816年(文化13)	・樋山地石鎚神社奥ノ院行場の不動明王石像の紀年、町内の同種で最古(3月) ・樋山地八幡神社棟札の紀年(11月)
1817年(文化14)	・樋山地石鎚神社奥ノ院行場の鎖の紀年
1823年(文政6)	・山路国一八幡宮の大鳥居にこの年の銘あり。
1829年(文政12)	・藩主から褒美をもらった飯尾村長寿者勝女、104歳で没 ・西麻植八幡神社、大鳥居にこの年の銘あり。

歴史年表

時代及び西暦(年号)	事 項
1830年(文政13)	・林居陵、飯尾で私塾を開き多くの子弟を教育
1832年(天保3)	・筒井竹香、鴨島で塾を開き子弟教授、以降、私塾が多く開かれる。
1834年(天保5)	・西麻植八幡神社、陶製狛犬にこの年の銘あり。
1837年(天保8)	・この頃、吉野川大洪水あいつぐ、1843年のは特に七夕水という。
1846年(弘化3)	・この年の洪水で、牛島堤防5カ所切れ、大被害を受ける。
1856年(安政3)	・この頃、鴨島村の林儀助、毎年信州より蚕種を購入し郡内へ配分
明治時代 1868年(明治元)	・阿波国を南、北、西、に分ける。本町は西民政所の掛所管
1869年(明治2)	・河野与平、西麻植の居宅に涵養学校創設、後各村に学校ができる。
1870年(明治3)	・庚午事変(稲田騒動)、飯尾小原の滝直太郎、日本最後の切腹
1871年(明治4)	・徳島県を名東県と改称、県内を区画して従来の郡を大区とした。麻植郡は第五大区、鴨島町は第1、2小区となる。 ・飯尾村に麻植郡東郷学校ができ、麻植郡東部の教育の中核となる。
1872年(明治5)	・藍売り場株、解放の布達により藍が自由に売買される。 ・学制の発布(8月) ・川真田市兵衛、川島町城山より牛島村に至る江川の大堤防を企画、同6年より第1期工事を始め、旧11カ村を守る。 ・武岡桃斉が山路善導校を創設。現森山小学校の前身。
1874年(明治7)	・上浦小学校創立、7~8年にかけて各村の小学校が創立される。
1875年(明治8)	・丸亀連隊編成される。本町民は丸亀連隊に入隊
1876年(明治9)	・名東県を廃し、阿波を高知県へ、淡路を兵庫県に合併 ・曾我廻家五九郎(本名武智故平)誕生、(4月13日)
1880年(明治13)	・高知県より分離、徳島県となる。
1886年(明治19)	・鴨島郵便取扱所開設(本町、川真田喜八郎氏宅)
1887年(明治20)	・阿波国共同汽船株式会社創設(社長、川真田市兵衛) ・この頃、安価なインド藍(Indigo)の輸入量が増えてくる。
1889年(明治22)	・市町村制により、鴨島村(鴨島、喜来、上下島)、牛島村(牛島、麻植塚、上浦)、森山村(山路、内原、中島、森藤)、西尾村(飯尾、敷地、西麻植)となり、13村が4カ村となる。知恵島は柿原と合併し、阿波郡柿島村となる。(10月)
1890年(明治23)	・川真田徳三郎第1回衆議院議員総選挙当選(7月)
1892年(明治25)	・鴨島町に初めての製糸工場「達磨製糸」が起こる。 ・川真田徳三郎第2回臨時総選挙当選(2月)
1894年(明治27)	・日清戦争勃発(7月)本町からも応召兵、戦傷病死者9名

歴史年表

時代及び西暦(年号)	事 項
1897年(明治30)	・この年の鴨島町の人口、鴨島村 3,173人、牛島村 4,686人、森山村 4,041人、西尾村 5,210人 合計 17,110人 ・この頃が本町藍栽培最盛期(～35年まで)
1899年(明治32)	・鴨島—徳島駅間、川真田徳三郎等により徳島鉄道(私有鉄道)2月に開通、8月に川島まで、西麻植駅の開業は10月となる。翌年8月、山川町船戸(現・川田駅西)まで開通 ・吉野川大洪水、牛島堤防破壊による被害甚大(8月29日)
1902年(明治35)	・この頃、インド藍より低廉なドイツの人造藍(ドイツインディゴ)に阿波藍が大きな打撃を受け衰退、養蚕へ切り換える農家が増える。
1904年(明治37)	・日露戦争始まる(～38年)、本町の戦傷病死者66名
1907年(明治40)	・麻名用水通水開始(5月1日) ・佐渡製糸工場設立(6月) ・鴨島村が鴨島町となる。(7月20日)
1910年(明治43)	・筒井製糸株式会社設立(6月) この頃、多くの小規模製糸工場ができる。 ・西麻植に常設芝居小屋「朝日座」ができる。大正13年に閉館 ・上下島出身の喜劇俳優、曾我廻家五九郎、東京へ出て浅草公園を中心に、昭和初期まで活躍、一世を風靡する。
1911年(明治44)	・藤井寺本尊薬師如来坐像、木造釈迦如来坐像として、国指定重要文化財となる。(8月) ・吉野川改修工事(堤防)着工(9月)、昭和2年竣工
大正時代 1913年(大正2)	・鴨島公園保勝会結成 ・吉野川改修工事のため、善入寺島より鴨島町内への移転始まる。
1914年(大正3)	・阿波商業銀行(現・阿波銀行)西本町に鴨島支店開設 ・鹿児島島の桜島大噴火、本町一円に灰が降る。 ・この頃、銀座通りに「文化座」ができ本町の娯楽の殿堂となる。昭和12年より、本町最初の映画常設館となるが、36年に廃業
1915年(大正4)	・石原六郎、飯尾に呉郷文庫創設 ・鴨島郵便局で電話交換事務開始
1916年(大正5)	・この年の鴨島町の人口、鴨島町 3,814人、牛島村 4,295人、森山村 3,864人、西尾村 5,708人、合計 17,681人 ・善入寺島全戸(506戸、3,000人)立退き
1917年(大正6)	・久保忠男により「麻植郡郷土史」ができる。
1918年(大正7)	・徳島水力発電鴨島出張所開設、鴨島町に電灯が灯る。
1919年(大正8)	・徳島県原蚕種製造所、鴨島町に庁舎竣工(徳島市前川より移転)

歴史年表

時代及び西暦(年号)	事 項
1921年(大正10)	・鴨島郵便局で電信事務が始まる。 ・この頃から昭和5年頃までが、本町製糸業の最盛期 ・敷地の敷島神社の大鳥居の紀年。この鳥居は町内で最大
1922年(大正11)	・片倉工業株式会社、佐渡製糸を買収し鴨島製糸所として操業開始 ・徳島県原蚕種製造所、徳島県蚕業試験場と改称(11月) ・麻植郡教育会により「麻植郡誌」ができる。
1923年(大正12)	・阿波郡八幡町粟島の一部、西尾村に編入 ・泉智等大僧正、真言宗総本山金剛峰寺の座主となる。(10月)
1925年(大正14)	・徳島県立麻植中学校(現・川島高等学校)開校 ・鴨島の菊人形展が筒井製糸所前で始まる。
1926年(大正15)	・鴨島菊友会が結成される。
昭和時代 1927年(昭和2)	・「菊遊座」ができ(現・協同病院東側)、菊人形展が盛大になる。
1928年(昭和3)	・工藤鷹助、江川遊園地起工(昭和6年、営業開始) ・天皇陛下に菊花を献上する。 ・知恵島の「源太の渡し」に木造潜水橋(記念吉野川中央橋)がかかるがその後たびたび流出する
1930年(昭和5)	・この頃、製糸工場の閉鎖するもの多くなる。 ・全国農民組合西尾支部発会・西尾小作争議本格化(11月)
1932年(昭和7)	・鴨島公園内に、泉智等大僧正の銅像、松村善蔵氏により建立
1933年(昭和8)	・鴨島公園内に、県下初の町民プール完成(50m プールと小プール) ・徳島県蚕業試験場に隣接して、徳島県菌検定所設置(10月)
1934年(昭和9)	・麻植塚駅(無人駅)開設、(小松島～川島にガソリンカー走る) ・牛島出身の藤井真信、岡田内閣の大蔵大臣に就任(7月) ・室戸台風来襲、暴風雨、洪水の被害甚大(9月21日)
1935年(昭和10)	・この年の鴨島町の人口、鴨島町 6,146人 牛島村 4,083人 森山村 3,338人 西尾村 4,866人 合計 18,433人
1936年(昭和11)	・作詩家野口雨情来町、江川遊園地、鴨島公園等を視察、鴨島小唄を作詩(2月)後、坂本歌都子が曲をつける。 ・粟島渡船場に木造の八幡橋完成
1937年(昭和12)	・日支事変起こる。徳島歩兵四十三連隊上海へ出動(鴨島町からも出征兵士続々応召)
1938年(昭和13)	・鴨島公園に隣接し、鴨島体錬場を建設(現・鴨島一中グラウンド) ・森山の山路にて旧象化石発掘
1939年(昭和14)	・戦争で負傷した軍人のために、徳島療養所を創設(5月)

歴史年表

時代及び西暦(年号)	事 項
1940年(昭和15)	・国営鴨島職業紹介所(現・ハローワーク)、秋葉神社前に開設 ・曾我廻家五九郎没(7月7日)
1941年(昭和16)	・牛島出身の岡田勢一、渭城中学校(現・城北高等学校)を創立 ・第二次世界大戦(太平洋戦争)勃発、本町から多くの兵士出征 ・小学校を国民学校と改称、各小学校の校名が変わる。 ・菊人形一時中止 ・八幡橋流出する(9月)
1942年(昭和17)	・切幡参りの客を乗せた「粟島の渡し船」沈没、死者多数(3月) ・食塩、みそ・しょうゆの配給統制、自由に買えなくなる。 ・戦争のため、梵鐘、銅像、橋の欄干、日用品等の金属製品回収、鴨島公園の泉智等大僧正の銅像も供出する。 ・戦争のため、鴨島菊人形を向こう7年間の休止が決まる。 ・国営鴨島職業紹介所、鴨島国民職業指導所として本郷へ新築移転
1943年(昭和18)	・筒井製糸鴨島工場、航空機部品製作工場となる。(終戦まで) ・酒・たばこも配給制となる。
1944年(昭和19)	・大阪の国民学校から児童259名、戦争のため本町に疎開 ・各家庭、学校、工場、公共施設に防空壕を設置、空襲に備える。 ・この頃より、敵の爆撃機(B29)たびたび本町上空通過
1945年(昭和20)	・徳島市空襲を受け壊滅、被災者本町にも多く入る。(7月4日) ・第二次世界大戦(太平洋戦争)終結、本町の戦傷病死者996名 ・徳島師範学校(現・鳴教大)戦災にあい、本町の筒井製糸工場と江川遊園地で疎開授業をする。(10月~22年9月) ・徳島県鴨島保健所、旧鴨島公民館の建物を借りて開所(10月) ・国立徳島療養所、厚生省へ移管(12月)
1946年(昭和21)	・戦後の菊作りはじまる。 ・岡田勢一、戦後初の総運当選(4月) ・知恵島境に徳島県立鴨島職業訓練所(テクノスクール)設置(10月) ・西尾村立西麻植幼稚園設立(10月) ・南海大地震(12月21日)、本町でも倒壊家屋あり。
1947年(昭和22)	・鴨島町大火災(3月23日)、銀座通りより東へ145戸焼失 ・農地解放実施(3月、7月、10月、12月) ・国民学校を小学校と改称、6・3制の義務教育となる。(4月) ・牛島、森山、鴨島、西尾の各新制中学校が発足(4月) ・鴨島国民職業指導所、鴨島公共職業安定所と改称(4月) ・西尾村立飯尾敷地幼稚園設立(4月) ・徳島県農業会麻植協同病院、現在地に開業(5月) ・第1回鴨島町火花大会開催(8月) ・県立蚕業技術員養成所設置(9月) ・鴨島公園及び周辺地、松村善蔵氏の寄贈により復活(12月) ・この年の鴨島町の人口、鴨島町 8,540人 牛島村 5,529人 森山村4,419人 西尾村 7,025人 合計 25,513人

歴史年表

時代及び西暦(年号)	事 項
1948年(昭和23)	・岡田勢一、芦田内閣の運輸大臣に就任(3月) ・鴨島町公安委員会の下に鴨島町警察署誕生、1951年廃止、県警に編入 川島警察署鴨島町警察官派出所となる。(現・交番) ・各町村に農業協同組合設立
1949年(昭和24)	・社会教育法制定、旧各町村公民館の設置が始まる。旧森山公民館(1950年)、旧鴨島公民館(1951年)が設置される。 ・牛島村立上浦幼稚園設立(4月) ・牛島村立牛島幼稚園設立(4月) ・喜来に「有楽座」が、菊人形センターとして誕生(9月) ・戦時中、中止の菊人形復活する。 ・森山村立森山幼稚園設立(10月)
1950年(昭和25)	・天皇陛下四国巡幸、鴨島町体鍛場(一中グラウンド)にて陛下奉迎式 ・ボーイスカウト徳島県連盟麻植第1団結成
1951年(昭和26)	・徳島県鴨島保健所、鴨島甲13(大北)に新館竣工移転(7月) ・財団法人麻植商工会議所が設立される。(西本町)
1952年(昭和27)	・麻名家畜保健衛生所、牛島駅近くに開設(3月) ・鴨島中学校、西尾中学校合併し、組合立麻植第一中学校となる。(4月) ・鴨島幼稚園設立(10月) ・鴨島町教育委員選挙、教育委員会発足
1953年(昭和28)	・牛島中学校、森山中学校合併し、組合立麻植第二中学校となる。(4月) 10月に校名変更、麻植中学校となる。 ・国道西条徳島線(路線番号192号)が2級国道に指定される。(5月) ・阿波中央橋開通(5月) ・河野正雄氏所蔵の短刀(1400年ころの作)、本町で最初の県指定文化財(工芸品)となる。(7月) ・組合立中央火葬場、柿原村知恵島に設立(11月) ・菊師島居慶昭氏この年より来る。
1954年(昭和29)	・板野郡一条町先須賀・四ツ屋地区を牛島村に編入(3月) ・主要地方道、鴨島〜三本松線の鴨島新橋竣工(3月) ・鴨島町、牛島村、森山村、西尾村の4町村合併、新鴨島町が発足、暫定的事務所を鴨島小学校青雲閣に置く。各旧役場を支所とする。(3月) ・鴨島町公益質屋開設(4月) ・鴨島町婦人会連合会発足 ・阿部永一氏初代町長に就任(5月) ・鴨島公民館を鴨島甲13に設置、(5月) ・江川水温異常現象、徳島県天然記念物に指定(8月) ・中学校の校名を鴨島第一中学校、鴨島東中学校と改称(11月)
1955年(昭和30)	・東山村榎山地地区を鴨島町に編入合併(1月1日) ・麻植商工会議所組織変更により、鴨島商工会議所となる。(3月) ・町議会議員定数30人に変更(3月) ・旧鴨島町役場の庁舎を大北に移築、鴨島町公民館とする。(4月) ・河野進氏2代目町長に就任(10月) ・国勢調査、鴨島町の人口 23,843人(10月)

歴史年表

時代及び西暦(年号)	事 項
1956年(昭和31)	<ul style="list-style-type: none"> ・西麻植に麻植酪農集乳所設立(現・明治乳業) ・鴨島町社会福祉協議会が任意団体として発足(10月)
1957年(昭和32)	<ul style="list-style-type: none"> ・公民分館(西尾、森山、牛島)旧役場に設置(1月) ・役場庁舎、鴨島字中郷388に新築竣工(2月)4月から使用開始 ・柿島村知恵島地区を鴨島町に編入(3月) ・鴨島町立鴨島商業高等学校創立(4月) ・徳島療養所内に飯尾敷地小、鴨島一中の障害児学級設置(10月) ・鴨島電報電話局本郷に竣工、11月に開局、四国で初めての自動即時通話が、徳島-鴨島間で開始
1958年(昭和33)	<ul style="list-style-type: none"> ・鴨島有線放送電話共同施設開設
1959年(昭和34)	<ul style="list-style-type: none"> ・鴨島町天寿会(老人クラブ)発会式(2月) ・飯尾敷地小学校講堂竣工(2月) ・一中体育館竣工・鴨島小学校講堂竣工(3月) ・新国道、西条徳島線のうち、「八本松~市瀬」着工(4月) ・明治乳業 阿波路工場集乳所発足(4月) ・堀江安一氏3代目(4代目)町長に就任(5月)
1960年(昭和35)	<ul style="list-style-type: none"> ・菊人形の展示会場であった有楽座焼、7棟全焼(2月) ・西麻植小学校講堂竣工(3月) ・銀座通りアーケード完成(8月) ・新国道、西条徳島線のうち、「市瀬~中島」着工(4月)、以後、新国道部分的に開通する。 ・菊人形江川遊園地で開催(10月) ・有楽座焼失により有楽園として復興
1961年(昭和36)	<ul style="list-style-type: none"> ・明治乳業株式会社徳島工場設立(1月)、操業開始(6月) ・鴨島公共職業安定所、中西に新築竣工、本郷より移転(3月) ・鴨島町同和教育推進協議会発足(4月) ・鴨島郵便局、本郷に新局舎竣工(5月)、7月より開業 ・第2室戸台風により町内全域に被害(9月) ・菊人形、江川遊園地で開催(10月)
1962年(昭和37)	<ul style="list-style-type: none"> ・鴨島町立鴨島商業高等学校、県立高校へ移管(3月1日) ・片倉製糸工場閉鎖(3月) ・国道新設のため鴨島第一保育所廃止(3月) ・町議会「交通安全都市宣言」決議(3月) ・中国四国農政局鳴門統計情報事務所鴨島支部を設置(12月)
1963年(昭和38)	<ul style="list-style-type: none"> ・鴨島町青少年補導センターを鴨島公民館内に設置する(1月) ・鴨島東中学校体育館竣工(2月) ・三輪自動車によるゴミ収集開始(4月) ・鴨島第一保育所新築(7月) ・JR鴨島駅前時計塔完成(8月) ・川島橋完成

歴史年表

時代及び西暦(年号)	事 項
1964年(昭和39)	<ul style="list-style-type: none"> ・鴨島町ゴミ焼却場竣工(1月)(7.5t/日)、昭45年(20t/日) ・上浦地区簡易水道完成(2月) ・鴨島町誌発刊(3月) ・児童館竣工(3月) ・西麻植会館竣工(4月) ・簡易水道工事着工、42年度竣工 ・2級国道、西条徳島線川島町境まで開通(6月) ・建設省吉野川第一出張所が喜来に設置される。(7月) ・上浦小学校プール完成(7月) ・国立療養所に筋ジストロフィー病棟開棟(8月) ・旧役場横に農事センター竣工
1965年(昭和40)	<ul style="list-style-type: none"> ・森山地区簡易水道完成(1月) ・鴨島小学校体育館完成(2月) ・河辺寺跡(史跡)壇の大クス、玉林寺のモクコク(天然記念物)県指定文化財となる。(3月) ・2級国道西条徳島線が一般国道192号となる(3月) ・国勢調査、鴨島町の人口23,138人(10月) ・鴨島町青少年補導センター設置規定ができる。(12月) ・菊人形の有楽園休業
1966年(昭和41)	<ul style="list-style-type: none"> ・鴨島駅前通歩道にアーケード完成(1月) ・西麻植地区簡易水道完成(2月) ・県蚕業技術員養成所を廃し、県農業大学校蚕業分校とする(4月) ・鴨島小校舎改築着工(7月)昭和47年3月竣工(4期に分け) ・西麻植小学校プール完成(8月) ・森山小学校鉄筋校舎完成(12月) ・上浦幼稚園舎改築(12月) ・菊人形、江川遊園地で開催
1967年(昭和42)	<ul style="list-style-type: none"> ・県道「鴨島停車場線」開通(1月) ・牛島地区簡易水道完成(3月) ・広報『かもじま』創刊(4月) ・地籍調査(国土調査)開始(4月) ・川真田郁夫氏5代目(6代目)町長に就任(5月) ・麻名家畜保健衛生所、阿波支所を併合し、徳島県鴨島家畜保健衛生所と改称、麻植塚(東中学校の東)に新築移転 ・玉林寺の釈迦十六尊神象(有形絵画)、持福寺の金胎兩界五瓶(有形工芸品)県指定の文化財となる。(7月7日) ・森山小学校プール完成(7月)
1968年(昭和43)	<ul style="list-style-type: none"> ・西尾村、森山村、牛島村、牛島、鴨島町養蚕農業協同組合が合併し、鴨島町養蚕農業協同組合が発足(3月) ・鴨島小学校校舎増築(3月) ・知恵島小学校校舎改築(3月) ・鴨島工業団地に長尾テキスタイル誘致(5月) ・麻植地区開拓パイロット事業着工(7月) ・阿波中央橋下流河川敷に、鴨島県民グラウンド竣工(7月) ・鴨島商業高校第50回全国高校野球選手権大会出場(8月) ・菊人形、江川遊園地開催を終了

歴史年表

時代及び西暦(年号)	事 項
1969年(昭和44)	<ul style="list-style-type: none"> ・全国教育美術展・特選に鴨島幼・小児童・園児ら12人が入賞(2月) ・西麻植小学校校舎完成(3月) ・鴨島東保育所完成(3月) ・上浦、牛島、鴨島、西尾、知恵島の5農業協同組合が合併し、鴨島農業協同組合が発足(4月) ・鴨島町章制定(5月) ・教職員住宅完成(6月) ・鴨島第一中学校管理棟竣工(7月) ・牛島小学校プール完成(7月) ・江川遊園地、吉野川遊園地と改称(8月) ・主要地方道、鴨島～三本松線、国道318号に昇格(12月) ・社会福祉法人 鴨島町社会福祉協議会設立(12月)
1970年(昭和45)	<ul style="list-style-type: none"> ・同和広報誌「あけぼの」創刊号発刊(2月) ・西保育所完成(2月) ・農協婦人部組成大会(2月) ・敬老年金贈与条例制定(3月) ・上浦小学校体育館完成(3月) ・焼却炉20トン炉完成(3月) ・蚕業試験場本庁舎等を道路の西側に移転改築(4月) ・飯尾上下島線着工(6月) ・鴨島保健所所在地に新築竣工、大北より移転(8月) ・徳島新聞鴨島支局設置(8月) ・中央地区広域市町村圏振興協議会発足(9月) ・第1回社会福祉大会(現・鴨島町文化祭)開催(11月) ・呉郷団地竣工・「呉郷団地」と命名(11月) ・粟島渡し終了
1971年(昭和46)	<ul style="list-style-type: none"> ・鴨島小学校校舎改築(2月) ・鴨島町都市下水道事業認可(2月) ・鴨島町民体育館竣工(3月) ・阿波麻植消防組合設立(4月) ・鴨島町下水道事業認可(4月)、47年12月起工式 ・町議会議員定数26人に変更(4月) ・鴨島町が徳島東部都市計画区域として決定される。(5月) ・鴨島公園に泉智等大僧正の銅像、松村家により復活(5月) ・鴨島中央火葬場炉煙突改築(5月) ・鴨島町体育協会設立(6月) ・町・農協と共催で農家主婦大学開校(6月) ・鴨島駅前「ノキナトウサン」碑除幕式(7月) ・インターハイ(高校総体)ウェイトリフティング競技開催(8月) ・飯尾敷地小学校プール完成(8月) ・徳島新聞鴨島支局舎完成(9月) ・神山町への県道、本名-鴨島線が自衛隊の協力で開通(11月)
1972年(昭和47)	<ul style="list-style-type: none"> ・鴨島農業協同組合本部、前年12月に竣工した購買センターへ移転(1月) ・飯尾上下島線完成(3月) ・鴨島小学校校舎改築(3月)

歴史年表

時代及び西暦(年号)	事 項
1972年(昭和47)	<ul style="list-style-type: none"> ・東禅寺遺跡の発掘調査(3~4月) ・阿波麻植消防組合、板野郡の一部加入のため阿北消防組合と改称 ・鴨島町子ども会連合会発足 ・鴨島町土地開発公社設立(5月) ・第1回五九郎まつり開催(6月) ・鴨島小学校プール完成(7月) ・「みかわ橋」命名(8月) ・コミュニティセンター、飯尾に竣工(9月)
1973年(昭和48)	<ul style="list-style-type: none"> ・70歳以上老人医療費無料(1月) ・知恵島小学校体育館及び管理棟完成(2月) ・西麻植教育集会所完成 ・鴨島町養護老人ホーム竣工(3月) ・鴨島商工会議所、旧鴨島保健所へ移転(5月) ・山路不燃物埋立地供用開始(10月) ・鴨島第一中学校グラウンド夜間照明灯完成(10月) ・町の文化財指定が始まる。森山獅子舞(無形文化財、民俗芸能)(12月) ・都市計画道路及び用途地域決定(12月)
1974年(昭和49)	<ul style="list-style-type: none"> ・徳島県立鴨島養護学校創立(小・中・高等部)、高等部は翌年4月 ・鴨島上水道工事竣工(4月) ・鴨島町教育研究所設置(4月) ・鴨島町PTA連合会発足 ・台風8号により、寺谷川、三谷川、湯吸谷川及び唐谷川が決壊(7月) ・協同病院北側道路(いじ川跡)大雨のたび冠水、通行止めとなる。 ・飯尾敷地小学校増改築(8月) ・東森藤内原線着工(12月)
1975年(昭和50)	<ul style="list-style-type: none"> ・森山幼稚園舎改築(3月) ・久保農夫也氏7代目町長に就任(4月) ・飯尾天神社境内に「少年の森」開設(5月) ・知恵島小学校プール完成(7月) ・国勢調査、鴨島町の人口24,747人(10月) ・阿波銀行鴨島支店、国道沿いの現在地に新築移転(11月)
1976年(昭和51)	<ul style="list-style-type: none"> ・西麻植小学校増築竣工(3月) ・上浦小学校校舎増改築(3月) ・鴨島町青少年育成補導センター設置条例制定(3月) ・鴨島町文化財保護審議会発足(4月) ・鴨島町に大型量販店(キョーエイ)が初めて出店される。(9月) ・鴨島町職員同和問題研究会結成(9月)
1977年(昭和52)	<ul style="list-style-type: none"> ・公共下水道事業認可(3月) ・神島会館竣工(3月) ・環境保全条例制定(3月) ・鴨島幼稚園舎改築(4月)独立幼稚園となる ・鴨島駅前で大菊人形展が開催されはじめる。 ・飯尾敷地地区同和教育推進協議会結成(6月)

歴史年表

時代及び西暦(年号)	事 項
1978年(昭和53)	<ul style="list-style-type: none"> ・呉郷保育所完成(2月) ・向麻山公園事業認可(2月) ・飯尾敷地幼稚園舎改築(3月) ・神島教育集会所竣工(3月) ・鴨島農業協同組合本部、購買センター南側に新館竣工、移転(4月) ・森山地区同和教育推進協議会結成(7月) ・鴨島第一中学校校舎改築(11月) ・銀座通りカラー舗装完成(11月) ・五九郎音頭レコード制作
1979年(昭和54)	<ul style="list-style-type: none"> ・上浦老人憩の家完成(1月) ・多津美公会堂完成(3月) ・鴨島町視聴覚ライブラリー設置条例制定(3月)、翌年4月開設 ・「飯尾敷地むかしむかし」発刊(3月) ・鴨島町青年団体連絡協議会発足 ・河野正氏8代目町長に就任(4月) ・老人福祉センター完成(10月) ・鴨島町中央公民館、現在地に竣工(12月)、翌年2月開館
1980年(昭和55)	<ul style="list-style-type: none"> ・鴨島東中学校校舎改築(3月) ・鴨島手話サークル発足 ・鴨島合唱団結成(4月)、1994年「コール・エ・コールかもじま」と改名 ・国立徳島療養所、国立療養所徳島病院と名称変更(4月) ・鴨島町同和教育講師団編成(4月) ・西麻植地区同和教育推進協議会結成(7月) ・鴨島第一中学校野球部、県・四国で優勝。全国大会出場(8月) ・町PTAによる「町民におくる人権のタペ」第1回開催(11月)
1981年(昭和56)	<ul style="list-style-type: none"> ・知恵島幼稚園舎改築、牛島小学校体育館完成、敷地老人憩の家完成(3月) ・鴨島一中、京都会館にて構成劇「起きよ光を放て」公演(7月)
1982年(昭和57)	<ul style="list-style-type: none"> ・森山小学校校舎改築(2月) ・岡原公会堂竣工(3月) ・鴨島町社会教育振興大会第1回開催(3月) ・西麻植会館、新築移転(3月) ・「人権教育啓発資料」初版発行(3月) ・森山農業協同組合、鴨島農業協同組合へ吸収合併(4月) ・牛島地区同和教育推進協議会結成(5月) ・「風土記にしおえ」発刊(8月) ・戸田稔氏9代目(10代、11代、12代目)町長に就任(11月) ・吐気山(はげやま)古墳発掘調査(11月)、調査概報翌年3月発行 ・西麻植地区において「自治会班別話し合い実践」始まる
1983年(昭和58)	<ul style="list-style-type: none"> ・森山小学校体育館完成(2月)、西麻植幼稚園舎改築(3月) ・「少年の森」に野外活動センター竣工(3月) ・先須賀公会堂竣工(3月) ・鴨島中央工業団地造成工事着工(4月)誘致企業(大真空)決定 ・東森藤内原線開通(10月)

歴史年表

時代及び西暦(年号)	事 項
1984年(昭和59)	<ul style="list-style-type: none"> ・西麻植小学校校舎改築(3月竣工) ・麻植地区開拓パイロット事業完工(3月) ・鴨島町清掃センター竣工(3月)(36¹/₈時間、18×2基) ・工業団地に神港電機、徳島昭和電気 企業誘致決定(4月) ・鴨島地区同和教育推進協議会結成(7月) ・鴨島町ボランティア連絡協議会結成(7月) ・大型量販店(マルナカ)出店(11月) ・駅前パチンコ店(キンチョー)火災
1985年(昭和60)	<ul style="list-style-type: none"> ・勤労者体育センター竣工(2月) ・「江川の湧水」、国の名水百選に選定される。(3月) ・向麻山公園遊具広場完成(3月) ・牛島公民館竣工(3月) ・上浦小学校校舎改築(3月) ・内原老人憩の家完成(3月) ・平康頼来鴨 800年祭(8月) ・鴨島第一中学校女子テニス部、県・四国で優勝。全国大会に初出場(8月) ・国勢調査、鴨島町の人口 26,800人(10月) ・セントラルホテル鴨島オープン(10月)
1986年(昭和61)	<ul style="list-style-type: none"> ・町の花「きく」、町の木「くす」を制定(3月) ・国道318号、鶴の田尾トンネル開通(3月) ・中央保育所改築(3月) ・鴨島第一中学校南校舎竣工(3月) ・筒井製糸株式会社、製糸部門閉鎖(5月) ・住民参加の「レッツ・クリーンデー」始まる。 ・鴨島町文化協会設立(11月)
1987年(昭和62)	<ul style="list-style-type: none"> ・飯尾敷地小学校校舎改築(3月) ・敷地公会堂完成(3月) ・雇用促進住宅誘致内定(3月) ・町議会議員定数22人に変更(4月) ・知恵島地区同和教育推進協議会結成(4月) ・上浦地区同和教育推進協議会結成(4月) ・鴨島町文化協会、第1回総合美術展開催(6月) ・鴨島郵便局新築、本郷より現在地へ移転(7月) ・日本国有鉄道公社が分割民営化しJR四国(四国旅客鉄道株式会社)となる(7月) ・ふるさと読本「あ、鴨島」発刊(10月)
1988年(昭和63)	<ul style="list-style-type: none"> ・西麻植小学校屋内運動場竣工(2月) ・牛島幼稚園舎改築(3月) ・ごみ分別収集開始(11月)
平成時代 1989年(平成元)	<ul style="list-style-type: none"> ・飯尾敷地小学校屋内運動場竣工(3月) ・町民憲章制定(3月) ・鴨島町文化研修センター竣工(3月) ・鴨島町合併35周年記念式典 ・鴨島町青少年育成補導センター設置条例改正、広域化する。(4月)

歴史年表

時代及び西暦(年号)	事 項
1990年(平成2)	<ul style="list-style-type: none"> ・「ふるさと森山」発刊(2月) ・牛島小学校校舎改築(3月) ・喜来ポンプ場(雨水)完成(3月) ・大東江川公会堂竣工(3月) ・第1回アドベンチャーイン吉野川開催(8月)
1991年(平成3)	<ul style="list-style-type: none"> ・鴨島東中学校視聴覚室(3階)増築竣工(1月) ・鴨島鳳翔太鼓創設(2月) ・知恵島小学校大規模改修(3月) ・鴨島町民体育館、東四国国体に備え大規模改修(3月) ・鴨島町同和教育推進協議会理事長体制を確立(4月) ・鴨島鳳翔太鼓発表たなばたコンサート開催(7月) ・鴨島商工会議所、現在地(鴨島169-1本郷)へ移転 ・徳島中央テレビ(CATV)設立、平成5年10月より放送開始 ・鴨島第一中学校合唱部、合唱コンクール全国大会で初の金賞受賞
1992年(平成4)	<ul style="list-style-type: none"> ・鴨島第一中学校屋内運動場竣工(3月) ・新開地中央通線一部供用開始(4月) ・ハッピー鴨島オープン(6月) ・「同和問題を考える町民のつどい」始まる(6月) ・電算化「住民基本台帳システム」スタート(7月) ・JR鴨島駅舎改装完了、オープンセレモニー(7月) ・鴨島町国際交流協会設立(8月) ・鴨島町が完全週休2日制スタート(10月) ・鴨島町民体育館周辺整備竣工(10月) ・鴨島町中央浄化センター竣工、公共下水道一部供用開始(10月) ・第62回全日本アマチュアボクシング選手権大会開催(11月) ・鴨島第一中学校合唱部、合唱コンクール全国大会 金賞
1993年(平成5)	<ul style="list-style-type: none"> ・森藤ふれあいランド竣工(3月) ・鴨島第一中学校技術室棟竣工(3月) ・鴨島農協、育苗センター完成(3月) ・蚕業試験場と繭検定所が統合し、徳島県蚕業技術センターと改称する。(4月) ・江川・鴨島公園整備完了(10月) ・東四国国体(徳島・香川)本町でボクシング競技を開催(11月) ・鴨島町中央公民館が優良公民館として文部大臣表彰をうける。(11月)
1994年(平成6)	<ul style="list-style-type: none"> ・高速自動車道(藍住-脇町)が開通する。(3月) ・森山小学校校舎増築竣工(3月) ・資源リサイクルセンター稼働開始(4月) ・鴨島町役場新庁舎竣工、現在地へ移転業務開始(8月) ・かも研究塾結成、合鴨農法飯尾敷地小で実践始まる。 ・森藤村づくり推進協議会、日本農林漁業振興会長賞に選ばれる。(10月) ・大型量販店(アクアシティ)出店(11月) ・鴨島第一中学校合唱部、合唱コンクール全国大会 金賞
1995年(平成7)	<ul style="list-style-type: none"> ・阪神、淡路大震災(1月17日)、鴨島町内からもボランティア活動参加、町民からの援助物資を送る。

歴史年表

時代及び西暦(年号)	事 項
1995年(平成7)	<ul style="list-style-type: none"> ・住民票・印鑑登録証明書の自動交付機四国で初めて稼働(2月) ・鴨島東中学校プール竣工(3月) ・除籍・改製原戸籍の発行事務の光ディスクシステム稼働(4月) ・鴨島町小・中学校同和教育研究会発足(5月) ・第1回「最後まで残った空海の道」ウォーク実施(5月) ・樋山地の文化財総合調査(10月) ・国勢調査、鴨島町の人口26,213人(10月) ・鴨島農協茄子採果機導入(10月)
1996年(平成8)	<ul style="list-style-type: none"> ・優良情報化団体(行政情報化部門)に本町が選ばれ、自治大臣から表彰される。(1月) ・森山公民館改築(3月) ・旧役場庁舎解体完了(3月) ・予算・財務会計システム導入(4月) ・鴨島町温泉第1号源泉、掘削完了(5月) ・鴨島町青少年のウインドアンサンブル第1回公演(8月) ・第20回鴨島大菊人形、町役場イベント広場で開催(10月) ・鴨島町文化協会、創設10周年記念行事開催(11月)
1997年(平成9)	<ul style="list-style-type: none"> ・鴨島町と近隣7ヶ町村で結成した徳島中央広域連合発足(2月) ・西麻植公民館、新築移転(3月) ・吉野川遊園地観覧車(57m)完成(3月) ・徳島県立鴨島職業訓練校(テクノスクール)廃校(3月) ・鴨島校と池田校が合併し、徳島県立西部テクノスクールが貞光町で開校(4月) ・鴨島町小規模シルバー人材センター設立(4月) ・都市計画道路「喜来上下島線」全線開通(4月) ・鴨島東中学校新体操部、中学校総合体育大会全国大会において、県下初の団体入賞(4位)(8月)
1998年(平成10)	<ul style="list-style-type: none"> ・鴨島温泉「鴨の湯」営業開始(1月) ・鴨島公共職業安定所(ハローワーク)新築移転(旧役場跡へ)(2月) ・上浦幼稚園舎改築(3月) ・南児童館竣工(3月) ・徳島県蚕業技術センター改組により、徳島県立農業試験場鴨島分場となる。(4月) ・鴨島町ホームページ開設(4月) ・中央火葬場敷地に鴨島町斎場(火葬場)業務開始(4月) ・鴨島町の人口が26,000人を切る(25,980人)(6月) ・鴨島東中学校新体操部2年連続全国大会に出場 第7位となる。(8月) ・明石海峡大橋開通(4月5日)記念行事文化フォーラム「くるま座」県下15カ所で開催、鴨島町での開催(9月) ・野口順次13代目(14代目)町長に就任(11月) ・上浦小学校運動場竣工(12月)
1999年(平成11)	<ul style="list-style-type: none"> ・西条大橋起工(1月) ・徳島-鴨島間、鉄道開通100周年記念行事が徳島駅で開催(2月) ・鴨島保健所に犬抑留所新築(3月)

歴史年表

時代及び西暦(年号)	事 項
1999年(平成11)	<ul style="list-style-type: none"> ・上浦小学校プール竣工(3月) ・中国四国農政局鳴門統計情報事務所鴨島出張所を廃止(3月) ・鴨島、川島、山川、美郷の各農業協同組合が合併し、麻植郡農業協同組合(J A麻植郡)が発足(4月) ・徳島中央広域連合事務局設置(4月) ・町議会議員定数20人に変更(4月) ・J A麻植郡農産物直売所「ひまわり農産市」オープン(12月) ・鴨島町行財政審議会答申(12月) ・J R鴨島駅西駐輪場完成(12月)
2000年(平成12)	<ul style="list-style-type: none"> ・徳島自動車道全線開通(3月) ・清掃センターダイオキシン対策完了(3月) ・鴨島小学校体育館完成(3月) ・鴨島町情報公開条例施行(4月) ・鴨島町広報紙毎月発行となる(4月) ・介護保険制度スタート(4月) ・「空海の道」ウォークに切幡寺～藤井寺間が加わる(5月) ・初めての子供議会開催(7月) ・江川エコフレンド発足(8月) ・第9回全国ボランティアフェスティバル開催(9月) ・第68回四国菊花品評会、町役場イベント広場で開催(10月) ・第1回吉野川ハーフマラソン大会開催(11月) ・ペットボトルの分別回収開始(11月) ・鴨島商工会議所設置50周年記念式典(11月) ・西麻植公会堂完成(12月) ・大型量販店(セレブ鴨島)オープン(12月) ・鴨島第一中学校駅伝部、第8回全国中学校駅伝大会出場(12月)
2001年(平成13)	<ul style="list-style-type: none"> ・第47回徳島駅伝大会麻植郡優勝(1月) ・鴨島町教育研究所廃止(3月) ・鴨島町営駐車場廃止(3月) ・社団法人鴨島町シルバー人材センター設立(4月) ・徳島県立農業試験場鴨島分場を徳島県立農林水産総合技術センター農業研究所病害虫防除所に改組(4月) ・鴨島小学校校舎改築完成(6月) ・鴨島第一中学校男子バレーボール部県中学総体優勝、四国大会出場(7月) ・国立療養所の結核病床廃止(9月) ・都市計画道路「鴨島上下島線」開通(11月)
2002年(平成14)	<ul style="list-style-type: none"> ・鴨島町中央公民館でIT講習開始(3月) ・鴨の湯「いやしの舎」完成(3月) ・阿北消防組合を解散、徳島中央広域連合に統合(4月) ・鴨島町、川島町、山川町、美郷村で「麻植郡合併協議会」を設立。事務所を川島町福祉センター「上桜」内に設置(4月) ・完全学校週5日制となる(4月) ・鴨島郵便局が郵政省から郵政事業庁管轄となる(4月) ・江川湧水源「いやしの舎」完成(5月) ・J R麻植塚駅前駐輪場完成(5月) ・S I阿波四国三郎号運行、徳島—阿波川島駅間。32年ぶり(5月)

歴史年表

時代及び西暦(年号)	事 項
2003年(平成15)	<ul style="list-style-type: none"> ・戸籍事務のコンピュータ処理開始(2月) ・都市計画道路「新開地中央通線」開通(3月) ・一般廃棄物最終処分場供用開始(4月) ・鴨島町人権センター設置(4月) ・鴨島郵便局が郵政事業庁から郵政公社管轄となる(4月) ・J R鴨島駅公衆便所改築水洗化完成(8月) ・藤井寺前公衆便所改築水洗化完成(9月) ・「ねんりんピック」第16回全国健康福祉祭徳島大会。鴨島町マラソン交流大会開催(10月) ・麻植郡4町村が「町村合併調印」(10月) ・町議会が合併議案を可決(12月)
2004年(平成16)	<ul style="list-style-type: none"> ・岡野コミュニティーセンター完成(3月) ・鴨島東中学校体育館改築完成(3月) ・西条大橋完成(3月) ・吉野川遊園地水族館完成(3月) ・国立療養所徳島病院が独立行政法人国立病院機構徳島病院となる(4月) ・香川銀行鴨島支店廃止(6月) ・阿波銀行上浦支店廃止(6月) ・鴨島町中央公民館大ホール改修(舞台、席 744 → 615) ・吉野川市誕生(10月1日) ・全国菊サミット開催(11月) ・鴨島町人口 25,260人 世帯数 9,028 (9月1日)

